

日本農業遺産（平成30年度認定）  
三方五湖の汽水湖沼群漁業システム  
モニタリングと次期保全計画について

令和6年3月24日（日）

三方五湖世界農業遺産推進協議会

三方五湖の汽水湖沼群漁業システム

日本を  
代表する  
3つの  
独創的な  
特徴

明治時代から湖単位で協同組合を立ち上げ  
▶ 漁業者の生計の保障と湖の農業生物  
多様性の保全を両立

地域の食文化を活用した湖魚の直売・加工  
▶ 漁業の付加価値を漁業者自ら高める

水害から速やかに回復する漁具の開発や収入  
を補う水稻や梅栽培  
▶ 生計被害を最小限に止める知識システム

# モニタリング概要

## 【モニタリングについて】

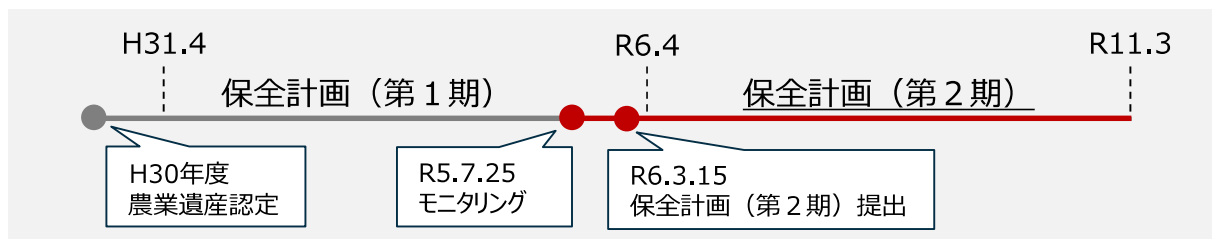
- ・5年に1回実施される、世界農業遺産等専門家会議委員による現地調査
- ・活動の継続、認定後の波及効果等を現地確認とプレゼンテーションにより評価
- ・モニタリング終了後、専門家の意見をもとに次期保全計画を作成

## 【日時】

令和5年7月25日 9:00～17:00

## 【担当委員】

武内 和彦（（公財）地球環境戦略研究機関(IGES) 理事長、東京大学未来ビジョン研究センター 特任教授）  
楠本 良延（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構、西日本農業研究センター 上級研究員）  
関 いずみ（東海大学人文学部 教授）



# モニタリング当日の様子



鳥浜漁協 本部



美しい鳥浜を創る会 水田魚道



ウナギ筒漁、柴漬け漁（三方湖）



昼食（うなぎ）

# モニタリング当日の様子



(一社) Switch-Switch 取組み紹介



海山漁協 フナ育成田



南西郷漁協 シジミ漁、浅場造成 (久々子湖)



総括質疑

# モニタリング結果

## 専門家の助言事項

- ・概ね適切に活動が行われており、今後も活動を継続すること
- ・以下の5点について、次期保全計画に反映させること

- ① 伝統漁法等の知識の掘り起こし、記録、継承
- ② 希薄化している漁業と林業の人的交流の強化
- ③ 担い手確保に向けた、湖産物への付加価値（6次化、漁業体験等）
- ④ あらゆる世代を対象にした、環境教育の取り組み
- ⑤ 海外に向けた取り組みの発信

# 保全計画への反映

## ① 伝統漁法等の知識の掘り起こし、記録、継承

- ・漁業者、研究機関と連携した、伝統漁法の技術に関する情報（手法、漁具の製造技術等）の記録・資料化



## ② 希薄化している漁業と林業の人的交流の強化

- ・里山環境の啓発活動
- ・農林漁業者と連携した福井梅の振興、間伐等の実施
- ▶ 三方五湖独特な急峻な斜面、地形、景観といった里山環境の保全、柴漬け漁等の伝統漁法の継続



# 保全計画への反映

## ③ 担い手確保に向けた、湖産物への付加価値

- ・専門家等のアドバイスに基づいた加工品開発
- ・農泊の協議会等と連携した体験プログラム開発
- ・イベントや道の駅等での湖産漁獲物、誘客メニューのPR



## ④ あらゆる世代を対象にした環境教育の取り組み

- ・「子どもラムサールクラブ」の活動、学校への出前授業、体験授業等の継続
- ・親子を対象とした外来種対策講習等の実施
- ・旅行者向けの伝統漁法体験等の実施



## ⑤ 海外に向けた取り組みの発信

- ・インバウンド向けの料理、体験メニュー開発
- ・HPの多言語対応等

# 農業遺産保全計画（第2期）

I	食料及び生計の保障	<ul style="list-style-type: none"><li>▶湖産漁獲物の増産・回復</li><li>▶誘客メニューの磨き上げ</li><li>▶インバウンド向けのPR</li><li>▶釣り客やファミリーレジャーの拡大</li></ul>
II	農業生物多様性	<ul style="list-style-type: none"><li>▶外来種対策</li><li>▶水田養魚の取り組み</li><li>▶コンクリート護岸から自然再生護岸へ</li></ul>
III	地域の伝統的な知識システム	<ul style="list-style-type: none"><li>▶後継者育成の検討</li><li>▶伝統漁法の技術継承</li><li>▶環境教育活動の充実</li><li>▶湖産漁獲物の学校給食、調理実習</li></ul>
IV	文化、価値観及び社会組織	<ul style="list-style-type: none"><li>▶伝統漁法体験</li><li>▶食文化の継承</li><li>▶神社の祭礼などの保存</li></ul>
V	ランドスケープ及びシースケープの特徴	<ul style="list-style-type: none"><li>▶「湖」の食文化のPR</li><li>▶里山環境の啓発、間伐の実施</li></ul>
VI	変化に対するレジリエンス	<ul style="list-style-type: none"><li>▶自然護岸整備</li><li>▶浅場造成・整地</li><li>▶湖のモニタリング</li></ul>
VII	多様な主体の参画	<ul style="list-style-type: none"><li>▶三方五湖一斉清掃</li><li>▶漁業体験学習の実施</li></ul>
VIII	6次産業化の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>▶加工品開発</li><li>▶加工品のPR</li></ul>